# 予算委員会　会議録

日　時　　令和２年８月１７日（月曜日）　午前１１時０７分　～　午前１１時４３分
場　所　　臼杵庁舎２階　全員協議会室

**出席委員の氏名**

| | | |
|---|---|---|
| 委員長　戸匹　映二 | 副委員長　武生　博明 | 委　員　河野　　巧 |
| 委　員　川辺　　隆 | 委　員　匹田久美子 | 委　員　内藤　康弘 |
| 委　員　伊藤　　淳 | 委　員　梅田　徳男 | 委　員　広田　精治 |
| 委　員　奥田富美子 | 委　員　若林　純一 | 委　員　長田　徳行 |
| 委　員　久藤　朝則 | 委　員　大塚　州章 | 委　員　大嶋　　薫 |
| 委　員　吉岡　　勲 | 委　員　牧　　宣雄 | |

**オブザーバー**

議　　長　匹田　　郁

**欠席委員の氏名**

（　な　し　）

**説明のため出席した者の職氏名**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 政策監（総務・企画担当） | 加島　和弘 | 政策監兼<br>部落差別解消推進・人権啓発課長 | 小坂　幸雄 |
| 政策監（福祉保健担当）<br>兼保険健康課長 | 杉野　等 | 政策監（産業担当）<br>兼産業促進課長 | 佐藤　一彦 |
| 秘書・総合政策課長 | 平山　博造 | 財務経営課長 | 荻野　浩一 |
| 福祉課長 | 大戸　敏雄 | 子ども子育て課長 | 尾本　　浩 |
| 消防本部消防長 | 平川　幸司 | 教育次長兼教育総務課長 | 甲斐　　尊 |
| 消防本部警防課長 | 庄司　哲宏 | 消防本部総務課長 | 小野加寿男 |
| 産業促進課総括課長代理 | 三内　錠児 | その他関係職員 | |

**出席した事務局職員の職氏名**

局長　東　弘樹　　次長　後藤秀隆　　副主幹　高橋悠樹　　書記　清水　香

**傍聴者**

（　な　し　）

---

**会議に付した事件及び審査結果**

| 番　　号 | 件　　名 | 審査結果 |
|---|---|---|
| 第７３号 | 令和２年度臼杵市一般会計補正予算（第６号） | 原案可決 |

---

**午前１１時０７分　開議**

**○委員長（戸匹映二）**

ただ今から予算委員会を開催いたします。本日は傍聴の申し出があった場合は、許可をしたいと思いますのでご了承願います。

これより議事に入ります。本委員会に付託されました議案は１件です。本日の委員会はお手元に配付しております委員会次第により進行をいたします。また質疑及び答弁を行う場合の挙手についても徹底をお願いします。第７３号議案　令和２年度臼杵市一般会計補正予算（第６号）を議題といたします。まず総務関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

**◎財務経営課長（荻野浩一）**

おはようございます。それでは補正の説明に入る前に、私のほうから簡単に概要について説明させてもらいます。座って説明をさせていただきます。

今回の補正予算につきまして、市長のほうから提案理由等ありましたけれども、新型コロナウイルス感染症に関しまして、早期に取り組んでいく事業と、継続して取り組むべき事業について予算を計上しております。補正予算の総額としましては、８，９８７万３，０００円。補正後の予算総額につきましては、２６７億９，６５９万円となっております。内容については感染症対策また事業継続支援となっております。それでは財務経営課所管分の補正予算について説明いたします。重点事項説明資料１ページをお願いします。

（　令和２年度　８月補正予算重点事項説明資料　１ページに基づき説明　）

**◎秘書・総合政策課長（平山博造）**

（　令和２年度　８月補正予算重点事項説明資料　１ページに基づき説明　）

**○委員長（戸匹映二）**

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

**○委員（河野　巧）**

消耗品、修繕費のほうですね、公民館と連絡事務所のほうの話だったんですけれども、コニュニティーセンターは済んでいたということで良かったですかね。

**◎財務経営課長（荻野浩一）**

今回の補正予算は、６月定例会の予算委員会において、議員より質問のあった連絡事務所等の網戸設置等に関する予算も含めたものであり、市が管理している施設を調査した結果、必要と判断した施設で、コミュニテイセンターについても調査し、既に設置されていますので、今回の予算には含まれていません。

**○委員長（戸匹映二）**

他にありませんか。

（　「なし」の声　）

**○委員長（戸匹映二）**

以上で総務関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午前１１時１１分　休憩

---

午前１１時１２分　再開

**○委員長（戸匹映二）**

再開いたします。次に福祉保健関係の議案について審査を行います。

**◎政策監兼保険健康課長（杉野　等）**

（　令和２年度　８月補正予算重点事項説明資料　２ページに基づき説明　）

**◎子ども子育て課長（尾本　浩）**

（　令和２年度　８月補正予算重点事項説明資料　２ページに基づき説明　）

**◎福祉課長（大戸敏雄）**

（　令和２年度　８月補正予算重点事項説明資料　２ページに基づき説明　）

**○委員長（戸匹映二）**

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

**○委員（奥田富美子）**

手作りエプロンのところですが、避難所と医療機関のところで、全体の数と、どんなふうに振り分けるのか、予定を教えてください。

**◎政策監兼保険健康課長（杉野　等）**

奥田議員のご質問にお答えいたします。振り分けというわけではございません。実際に必要

となった場合に市のほうが、制作していただいた分を手元にもって必要な時に放出するということを考えております。数量は、資材として一つのビニールシートがあるんですが、それが一本につき大体２００枚か３００枚程度作れますので、それに見合った数になってくるかと思います。結構な量を作っていきたいと思います。避難所等医療機関、医療機関等の中には、介護施設のほうも困っているという実態がございますので、そういうところにも対応していきたいと考えております。

**○委員（河野　巧）**

同じく手作りエプロンなんですけれども、事業してもらう場所はどういったところを想定されていますでしょうか。

**◎政策監兼保険健康課長（杉野　等）**

作っていただくところですけれども、障がい者施設に、今、打診しておりまして、障がい者の一つの作業としても、有効になってくるのかなと思いまして、そういうところを考えております。ただ、今のところ、すぐしますというふうにはなっていないんですけれども、いろんな工程がございますので、説明を行っていきながら、なるべく早く実施に向けてまわっていきたいと思います。

**○委員長（戸匹映二）**

他にありませんでしょうか。

（　「なし」の声　）

**○委員長（戸匹映二）**

以上で福祉保健関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午前１１時１８分　休憩

---

午前１１時１９分　再開

**○委員長（戸匹映二）**

再開いたします。次に産業関係の議案について審査を行います。

**◎産業促進課長（佐藤一彦）**

（　令和２年度　８月補正予算重点事項説明資料　３ページに基づき説明　）

**○委員長（戸匹映二）**

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

**○委員（奥田富美子）**

歳出２の小規模事業者等再起支援事業補助金ですが、説明のところの対象の②ですが、７カ

月間あってそのうちの６カ月分というふうになっている理由を教えてください。

**◎産業促進課長（佐藤一彦）**

６カ月分とした理由につきましては、国の家賃支援給付金についてもひと月分の賃料の３分の２を６回分としております。これに同等の条件といたしまして、６回分、６カ月分としているところでございます。

**○委員（奥田富美子）**

すみません。質問が悪かったと思うんですが、対象になる月は６月から１２月だから７カ月ありますよね。そのうち６カ月分を申請者が選んでするということの理由はなんでしょうか。選ぶんじゃないんですかね。対象月が７カ月分になっていますが、実際に受けられるのは６カ月。というのは、国とかの制度の実態に合わせてやったということで良いでしょうか。

**◎産業促進課長（佐藤一彦）**

飲食店等の自己所有の方の助成の期間を５月までとしておりますので、今度は６月以降のうちの６カ月間、連続した６カ月間となります。６月から１１月。もしくは７月から１２月の６カ月間といたしました。

**○委員長（戸匹映二）**

他にありませんか。

**○委員（若林純一）**

まず歳出の１ですが、事業者の数としてはどの位を考えているのでしょうか。

**◎産業促進課長（佐藤一彦）**

若林議員のご質問にお答えします。数としては７０名分を想定しております。理由といたしましては、今、漁協の組合数は３３０名でございます。正組合員が１６７名でございますが、現状今水揚げがある方が１６７人。これは正組合員数１６７名と言いましたが、それとイコールではございませんが、１６７名の方が水揚げがあります。そのうちの持続化給付金の該当となる漁業者が１５３名あります。１カ月の売り上げが少ない方でも去年より減っていれば対象になるんですが、１年漁に出られているような方については満額支給をされているということで、対象７０名という推定をしております。以上でございます。

**○委員（若林純一）**

この仕組みからいうと、通年漁に出られていて、かなり売り上げが上がっている方で、５割をきって持続化給付金もらっている方っていうふうに限定されているみたいですけど、その漁業者で零細でやられていて、コロナの影響受けて持続化給付金をもらうまでもないけど、大変だねっていう人に対しての支援も考えるべきじゃないかなと思うんですが。この予算と、ちょっと直接関係ありませんけど、要するに通年漁業をしていて、５割以上減った、いわゆる経理がしっかりしている大きな漁業者っていうふうになってくるんですけど、しかも９万円しか出さないっていうことなので、そういう方々ももちろんですけど、もう少し漁業をこれから続けていってくださいね。９万円差し上げますという仕組みがあってもいいのかなと思うのですが、

そこを切った理由は何かあるんですか。

**◎産業促進課長（佐藤一彦）**

この事業９万円相当の燃料代の給付でございますが、近年、数カ月というか、コロナ後非常に、魚市場での水揚げ量がかなり減ってきております。これにつきましては消費者飲食店での消費が落ちているということにより、魚価単価がかなり落ちているということで、漁に出ても中々採算が合わないということで、漁に出ないという方もいるということで、漁協や事業者の方と話した中で、少しでも漁に出ていただいて、水揚げ高を増やしていただきたいという理由もあり、多く漁に出ていただいている方の燃料費補助といたしたところでございます。

**○委員（若林純一）**

かみ合っていないんですけどね、要するに、漁に出る時に支援してあげたらいいんじゃないんですかっていう主旨です。それをしない理由は何ですかっていうことです。だから今この仕組みだと５０％以上、要するに持続化給付金を満額受けた方しか払えませんよとなっているから、そういう厳しいことをせずに、もうちょっと漁業者を支援するという観点で、補助制度組み立てられない理由はなんですかって言っている。

**◎産業促進課総括課長代理（三内錠児）**

産業促進課の三内と言います。よろしくお願いします。今若林議員からご質問あったんですけれども、漁業者、漁協の方で調べたんですが、水揚げがあがっている方が先ほど言ったように、正組合員、及び準組合員、３３０名中１６７名おります。少ない金額の方達っていうのも、持続化給付金に該当する方がほとんどです。１６７名中１５３名の方が、持続化給付金いただけるということで、水揚げの少ない方については、昨年の収入をすでに補償されている方がほとんどです。１００万円をこえている方というのは、昨年の収入が１５０万円あれば、５０万円マイナスになるというところで、持続化給付金を満額以上もらっている方というのは、昨年の収入よりも少なくなってしまうので、今回、持続化給付金を満額もらってる方を対象にさせていただきました。

**○委員（若林純一）**

分かりました。では、次歳出の２番ですけど。２番も同じ理由で、５０％以上減少した方だけを対象にしてますけど、たとえば４割減少した方に対する支援っていうのはどんなふうに考えているのか。なぜ５割にするのか。もうちょっと市が小規模事業者を支援するのであれば、５割以上減れば、持続化給付金がもらえるわけですよね。たださっきの理屈だと持続化給付金もらいすぎている方も、もらい足りない方も、確かにおられると思うけど、もらってない方は、もらえていないという理屈になるので、そういう意味では、その方々を救う敷居を下げることができない理由が何かあれば教えてください。

**◎産業促進課長（佐藤一彦）**

若林議員のご質問にお答えします。今回この小規模事業者の方の光熱経費の事業を組むにあたりまして、事業者の方、全ての業種ではありませんが、ヒアリング等行っております。そう

いった中で４月中旬段階ではございますが、昨年に比べて、４月のどん底期には７割８割減っていた方が、７月段階では８割位戻って、２割減少位に戻っているという飲食店の一部の方、醸造業や小売業の方、そういった状況の中で、どのラインにするかというのをかなり考えましたが今回は、国の家賃支援給付金の基準の割合、１ヶ月で５０％以上減少、もしくは３カ月の合計が３０％以上減少。この数を国の業種別に見た調査、売り上げがどの位減少しているかの調査、また市のほうで、１，７２０事業所のうち、どういった業種が落ちているかというのを調べて出してみたんですが、そういった中で、３カ月間の合計３０％、国の１カ月間の売り上げが５０％以上減少しているという国の家賃支援給付金の本筋に合わせるのが妥当じゃないかということで、分析した結果、判断したものでございます。

**○委員（若林純一）**

ということは国の持続化給付金をもらってるとか、もらってないとかじゃなくて、令和２年６月から１２月のうちで、５０％以上減っている月が続いたりとか、３０％以上が３か月続いたりとかする、回復しづらい方々を支援するという主旨だということでよろしいでしょうか。

**◎産業促進課長（佐藤一彦）**

若林議員のおっしゃるとおりでございます。想定としましては１５５件ほどが対象となる事業者になっております。

**○委員長（戸匹映二）**

他にありませんでしょうか。

（　「なし」の声　）

**○委員長（戸匹映二）**

では以上で産業関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午前１１時３４分　休憩

---

午前１１時３５分　再開

**○委員長（戸匹映二）**

再開いたします。次に教育委員会事務局の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

**◎教育次長兼教育総務課長（甲斐　尊）**

（　令和２年度　８月補正予算重点事項説明資料　４ページに基づき説明　）

**○委員長（戸匹映二）**

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

**○委員（河野　巧）**

網戸設置についてなんですけれども、ついていないところをされる予算だと思うんですが、すでについていて壊れたところについては、補修費は別にあるんでしょうか。

**◎教育次長兼教育総務課長（甲斐　尊）**

河野議員のご質問にお答えいたします。既設の学校につきましては、修理が必要な場合は、既存の予算で対応したいというふうに思っております。

**○委員長（戸匹映二）**

他にありませんか。

（　「なし」の声　）

**○委員長（戸匹映二）**

以上で教育委員会事務局の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午前１１時３７分　休憩

---

午前１１時３８分　再開

**○委員長（戸匹映二）**

再開いたします。次に消防本部の議案について審査いたします。執行部の説明を求めます。

**◎消防署総務課長（小野加寿男）**

（　令和２年度　８月補正予算重点事項説明資料　５ページに基づき説明　）

**○委員長（戸匹映二）**

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

**○委員（若林純一）**

歳出の２番ですけど、いずれも消耗品的なところもあるんですけれども、一回整備した後の面倒は、どんなふうにみていく予定なのか。つまり市側で消防団員に対して、どういう考え方で支給するのか。要するに消毒液について各分団が持っとけっていう話になると、これから先ずっとメンテナンスしていかなければいけない。その費用がずっと発生するんですけど、そのあたりのその考え方って整理されているんでしょうか。

**◎消防署総務課長（小野加寿男）**

若林議員のご質問にお答えします。今回このように国の交付金を１００％充当できる予算が確保できております。今後コロナウイルス感染症の状況や国の予算制度等を考慮いたしまして、今後を見据えて検討して参りたいと思います。基本的には現在予算の確保ができたものについて配備するような状況でございます。

**○委員長（戸匹映二）**

他にありませんでしょうか。

（　「なし」の声　）

**○委員長（戸匹映二）**

以上で消防本部の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

**午前１１時４１分　休憩**

---

**午前１１時４２分　再開**

**○委員長（戸匹映二）**

再開いたします。これより第７３号議案　令和２年度臼杵市一般会計補正予算（第６号）に対する討論に入ります。

（　な　し　）

**○委員長（戸匹映二）**

以上で討論を終わります。これより採決を行います。第７３号議案については原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（　「異議なし」の声　）

**○委員長（戸匹映二）**

異議なしと認めます。よって第７３号議案については原案のとおり可決すべきものとして決しました。以上で第７３号議案についての議案審査を終わります。以上で本委員会に付託を受けました議案の審査を終わります。予算委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

**午前１１時４３分　閉会**

---

臼杵市議会委員会条例第３０条第１項の規定により、ここに記録を作成する。

令和２年８月１７日

臼杵市議会

予算委員会委員長　　戸匹　映二